

令和5年度 学校評価アンケート【まとめ】

質問項目:22項目

(県立高校共通質問 14項目 本校独自質問 8項目)

《回収率》

生徒 206名中 193名(93.7 %) 保護者 201名中 174名(86.6 %)
 教職員 38名中 32名(84.2 %)

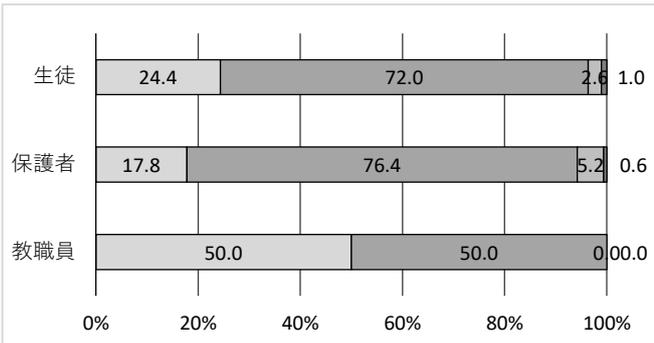
※ 表の()内の数字は昨年度のものです。

【評価】 1:当てはまる 2:わりと当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

[共通質問]

1. 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。(教務)

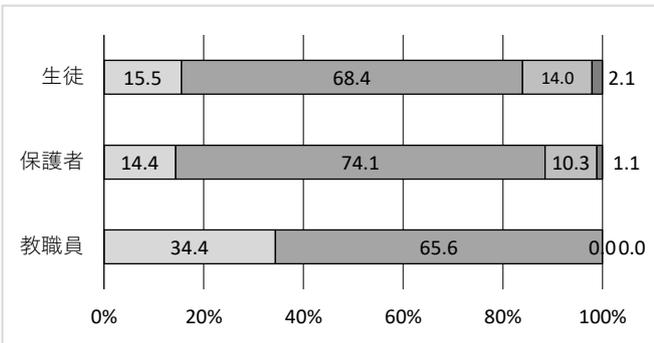
(%)	1	2	3	4
生徒	24.4	72.0	2.6	1.0
保護者	17.8	76.4	5.2	0.6
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0



今年度より設定された質問項目のため昨年度との比較はできませんが、すべてのカテゴリーで肯定的な回答をいただきました。流通マネジメント科では流通ビジネスに関する知識の習得を、情報システム科では情報処理に関する知識・技術の習得を、OA会計科では簿記・会計に関する知識・技術の習得を目指し、各分野で活躍できる実践力を育むよう今後も指導していきたいと思ひます。

2. お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。(教務)

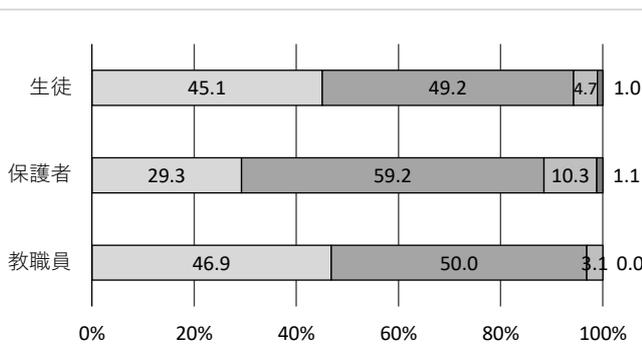
(%)	1	2	3	4
生徒	15.5 (15.4)	68.4 (68.9)	14.0 (12.6)	2.1 (3.1)
保護者	14.4 (10.4)	74.1 (77.1)	10.3 (10)	1.1 (2.5)
教職員	34.4 (28.3)	65.6 (65.2)	0.0 (6.5)	0.0 (0)



すべてのカテゴリーで概ね肯定的な回答であるものの、生徒は0.4ポイント下降し、教職員は6.5ポイント上昇しました。すべての教科においてより良い授業を展開できるよう今後も改善を図り、教職員と生徒との意識の差を埋めていきたいと思ひます。

3. 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒指導)

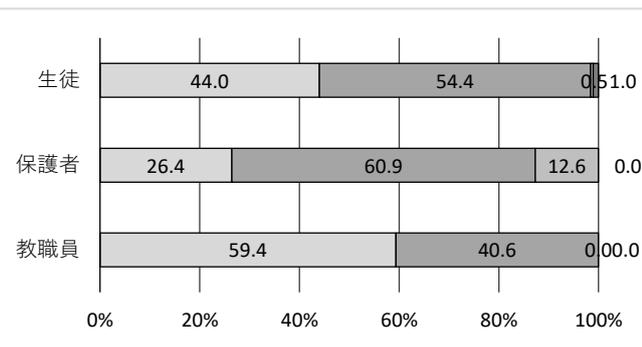
(%)	1	2	3	4
生徒	45.1 (45.9)	49.2 (49.7)	4.7 (3.1)	1.0 (1.3)
保護者	29.3 (18.9)	59.2 (63.9)	10.3 (15.4)	1.1 (1.8)
教職員	46.9 (41.3)	50.0 (47.8)	3.1 (8.7)	0.0 (2.2)



すべてのカテゴリーにおいて高い割合で肯定的な回答となりました。その中でも保護者の肯定的な回答は大幅に増加し、「当てはまる」は10.4ポイント上昇しました。一部の生徒に遅刻や早退の固定化が見られるものの、全体としては概ね良好に学校生活を過ごしています。今後も生徒や保護者と教職員の温度差が出ないように、連携を図りながら指導を行っていききたいと思います。□

4. お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。(進路指導)

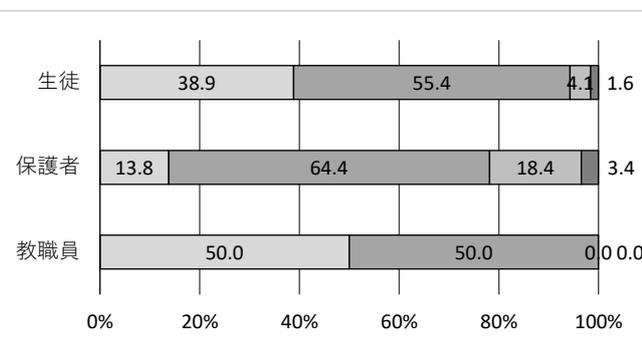
(%)	1	2	3	4
生徒	44.0 (39)	54.4 (55.3)	0.5 (4.1)	1.0 (1.6)
保護者	26.4 (17.1)	60.9 (66.1)	12.6 (13.9)	0.0 (2.9)
教職員	59.4 (56.5)	40.6 (39.1)	0.0 (4.3)	0.0 (0)



すべてのカテゴリーにおいて、肯定的な回答が上昇しました。特に、生徒の肯定的な回答は10割近くと、ここ数年において最も高い割合となっています。しかしその一方で、保護者の「あまり当てはまらない」は1割を超えているため、今後も進路目標の明確化に向けて努力し、的確な進路の指針を示して進路指導の充実を図っていききたいと思います。

5. 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。(保健厚生)

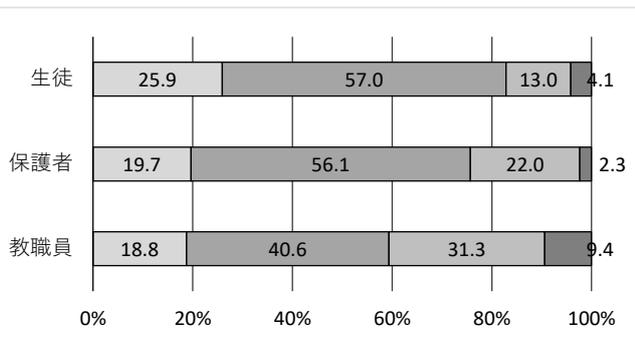
(%)	1	2	3	4
生徒	38.9 (31.1)	55.4 (59.4)	4.1 (7.2)	1.6 (2.2)
保護者	13.8 (10)	64.4 (67.7)	18.4 (17.2)	3.4 (5)
教職員	50.0 (43.5)	50.0 (56.5)	0.0 (0)	0.0 (0)



生徒と教職員の肯定的な回答の割合は高いものの、保護者は7割程度に留まりました。生徒には、4月にSCの来校年間予定表を配布し月2回カウンセリングも案内し、保健室も担任も悩みを抱える生徒の話聞く雰囲気づくりに努めておりますが、保護者には相談窓口が認識されにくいためと推察されます。今後は、3か月に1回程度、保護者宛ての通信にSC来校日の案内を掲載するなどして相談窓口が認識されるよう工夫していききたいと思います。

6. 学校として、部活動は活発に行われている。(生徒指導)

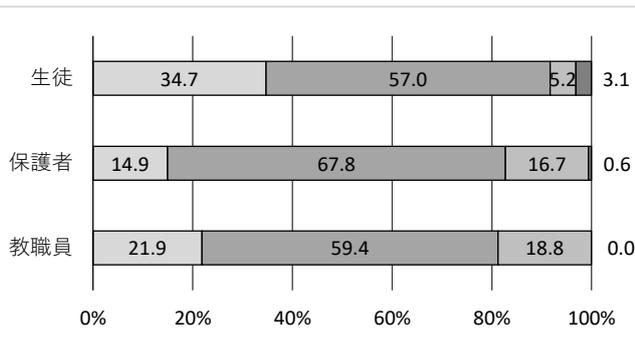
(%)	1	2	3	4
生徒	25.9 (34)	57.0 (49.4)	13.0 (13.5)	4.1 (3.1)
保護者	19.7 (28.7)	56.1 (45.9)	22.0 (20.4)	2.3 (5)
教職員	18.8 (15.2)	40.6 (47.8)	31.3 (28.3)	9.4 (8.7)



生徒の肯定的な回答が8割を超えており十分満足していることが伺えますが、保護者と教職員は生徒と比較して低くなっています。入部している生徒は活発に活動し充実していると思われませんが、閉校に向け部活動数を精選している中、加入希望の部活動が存在しないことや部員数の減少なども影響し、保護者と教職員の肯定的な回答が低くなったのではないかと考えます。今後も、生徒が充実した部活動が行えるように指導の工夫を図っていきたいと思います。

7. 学校として、生徒会活動は活発に行われている。(生徒指導)

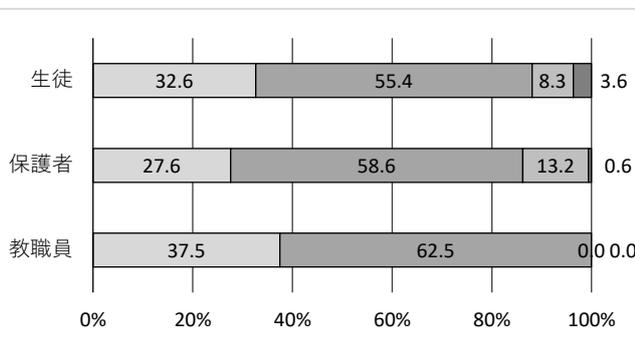
(%)	1	2	3	4
生徒	34.7 (40.9)	57.0 (51.9)	5.2 (5.3)	3.1 (1.9)
保護者	14.9 (18.3)	67.8 (59.1)	16.7 (20.8)	0.6 (1.8)
教職員	21.9 (30.4)	59.4 (58.7)	18.8 (10.9)	0.0 (0)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が8割を超えており、十分満足していることが伺えます。今年度は、コロナ禍前と同様の行事を開催し、保護者の参加や行事見学ができたため、各種委員会や生徒会執行部など生徒の活躍している姿を見ていただく機会が昨年度よりも多くなり、肯定的な回答の割合が高くなったものと思われれます。来年度も感染対策を万全にし、生徒が安心して活動できるように全職員で活動を支えていきたいと思います。

8. お子様にとって、有意義な学校行事がある。(生徒指導)

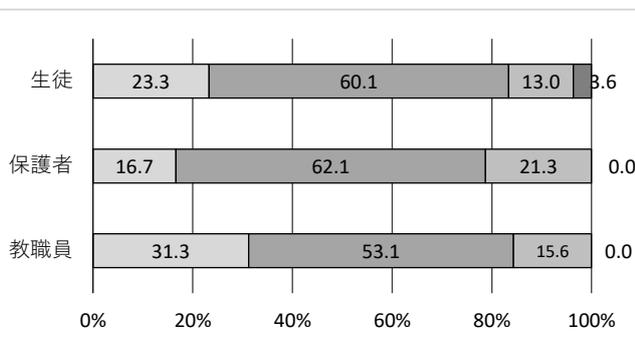
(%)	1	2	3	4
生徒	32.6 (34.3)	55.4 (51.9)	8.3 (10.4)	3.6 (3.5)
保護者	27.6 (20)	58.6 (59.3)	13.2 (17.5)	0.6 (3.2)
教職員	37.5 (43.5)	62.5 (56.5)	0.0 (0)	0.0 (0)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答が8割を超えており、十分満足していることが伺えます。今年度は、コロナ禍前と同じように通常の形態で各種行事を開催することができたためと思われれます。来年度は大商最後の年になり、生徒数も教職員数も減少しますが、生徒の思い出に残るよう工夫しながら各種行事を開催したいと考えます。

9. 学校として、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。(教務)

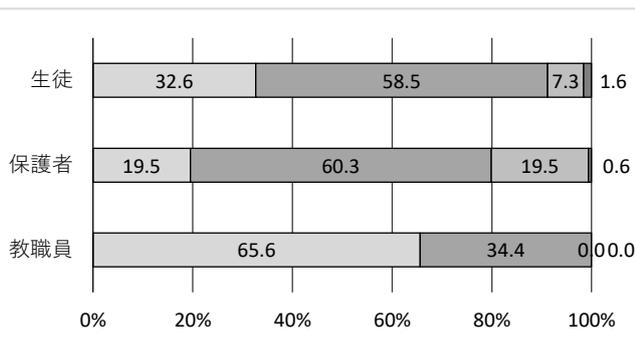
(%)	1	2	3	4
生徒	23.3 (20.1)	60.1 (58.5)	13.0 (17.3)	3.6 (4.1)
保護者	16.7 (11.9)	62.1 (58.3)	21.3 (27.7)	0.0 (2.2)
教職員	31.3 (26.1)	53.1 (47.8)	15.6 (26.1)	0.0 (0)



肯定的な回答が、生徒は4.8ポイント、保護者は8.6ポイント、教職員は10.5ポイントと大幅に上昇しました。授業の一環として地元企業と行った商品開発や学校行事、ボランティア活動等を通して、地域の方々と関わる機会が多くあったためと考えられます。これらの経験を生かし、来年度も地域に根ざした活動に取り組んでいきたいと思ひます。

10. 保護者に対して、災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。(総務)

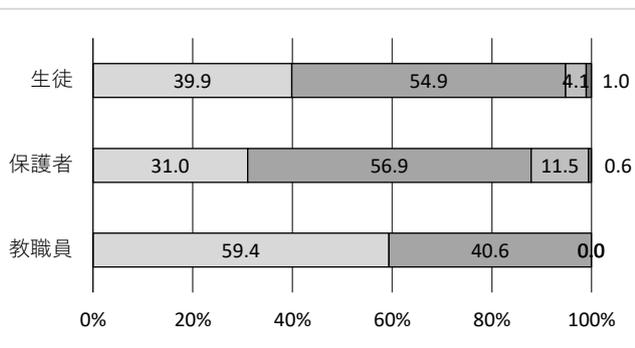
(%)	1	2	3	4
生徒	32.6 (32.4)	58.5 (59.1)	7.3 (6)	1.6 (2.5)
保護者	19.5 (16.8)	60.3 (59.3)	19.5 (20.7)	0.6 (3.2)
教職員	65.6 (39.1)	34.4 (56.5)	0.0 (4.3)	0.0 (0)



肯定的な回答はいずれのカテゴリーも8割を越え、昨年度とほぼ同じ結果となりました。年に2回、春と秋に行う地震や火災を想定した避難訓練や、年度当初に配布する「大商カレンダー」の防災計画等が周知されてきたためと考えられます。今後も、大雨、強風など悪天候時における学校の対応など、生徒が安全に過ごすための情報をメッセージアプリを活用して発信していきたいと思ひます。

11. 保護者に対して、学校だよりなどによって、学校の情報を適切に伝えている。(総務)

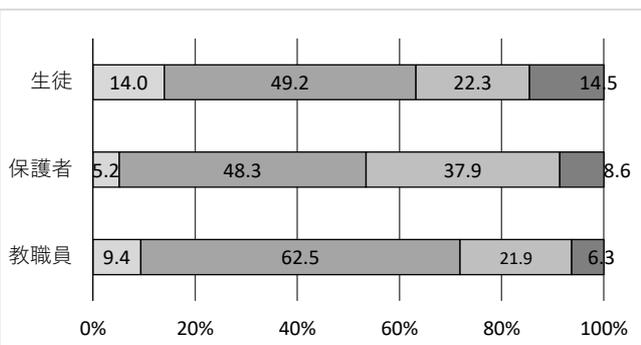
(%)	1	2	3	4
生徒	39.9 (30.5)	54.9 (59.1)	4.1 (8.8)	1.0 (1.6)
保護者	31.0 (18.9)	56.9 (60.7)	11.5 (15)	0.6 (5.4)
教職員	59.4 (41.3)	40.6 (56.5)	0.0 (2.2)	0.0 (0)



すべてのカテゴリーで肯定的な回答となり、生徒と保護者はそれぞれ5.2ポイント、8.3ポイントと大幅に上昇しました。手軽に見ただけのよう、学校からの配信メールやQRコードを活用したり、町役場や公民館、郵便局などの公共施設に大商通信を配置したりするなど工夫を重ねてきた結果と考えます。今後も、より多くの方に学校の情報を伝えていけるよう工夫を重ねていきたいと思ひます。

12. 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。(事務)

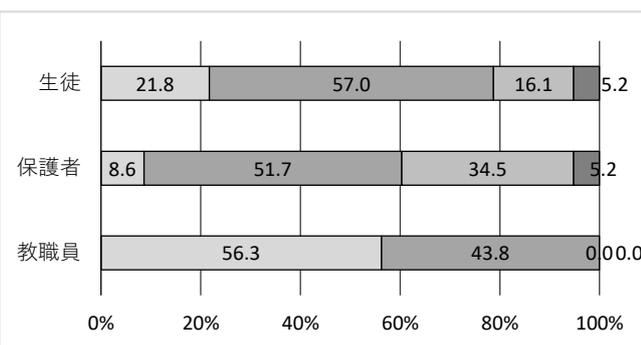
(%)	1	2	3	4
生徒	14.0 (14.2)	49.2 (42.5)	22.3 (28)	14.5 (15.4)
保護者	5.2 (5.4)	48.3 (44.6)	37.9 (34.9)	8.6 (15.1)
教職員	9.4 (15.2)	62.5 (56.5)	21.9 (26.1)	6.3 (2.2)



他の質問項目よりも肯定的な回答の割合は低いものの、すべてのカテゴリーで昨年度よりも肯定的な回答のポイントが上昇しました。過去2年間で、すべての普通教室へのエアコンが設置され、校舎内外の地震被害復旧工事も完了したことがポイント上昇に繋がった要因と考えられます。校舎の老朽化は否めませんが、安全に学校生活を送れるよう今後も点検を重ね、整備を進めていきたいと思ひます。

13. 学校として、いじめの問題に対する取組方針は保護者と共有されている。(生徒指導)

(%)	1	2	3	4
生徒	21.8 (21.1)	57.0 (58.2)	16.1 (14.8)	5.2 (6)
保護者	8.6 (5.7)	51.7 (53.4)	34.5 (30.8)	5.2 (10)
教職員	56.3 (43.5)	43.8 (56.5)	0.0 (0)	0.0 (0)

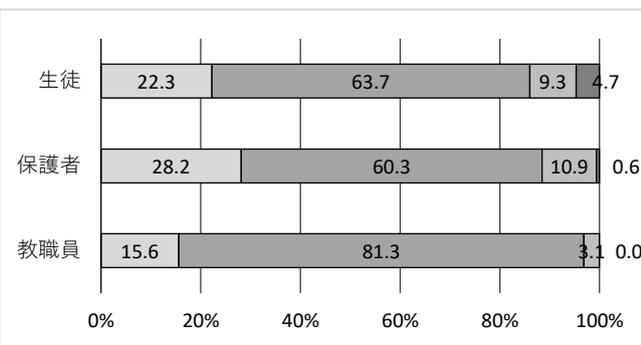


教職員の肯定的な回答に比べ、生徒と保護は昨年度より若干の増減はあるもののあまり変わりなく、教職員と生徒・保護者との間に温度差があります。生徒が必ずしも毎月末に実施する学校生活アンケートにすべてを書いているわけではなく、保護者に相談しているケースや自分で抱え込んでいる場合があるためと考えられます。今後はアンケートだけでなく、教育活動全般に於いて全職員がより一層アンテナを高くし、生徒の変化に気を配り、情報収集を行いたいと思ひます。

[独自質問]

14. お子様の学校生活は充実している。(教務)

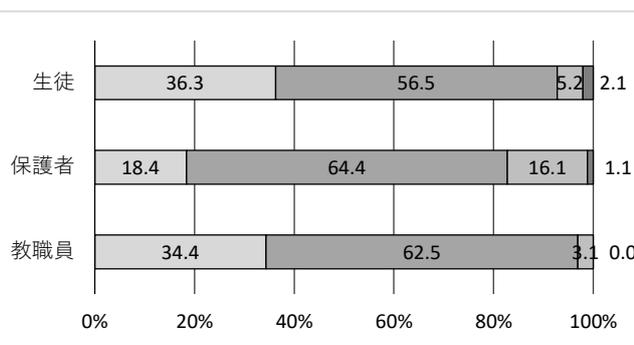
(%)	1	2	3	4
生徒	22.3 (28)	63.7 (54.1)	9.3 (11.3)	4.7 (6.6)
保護者	28.2 (19.3)	60.3 (65.4)	10.9 (11.4)	0.6 (3.9)
教職員	15.6 (15.2)	81.3 (73.9)	3.1 (10.9)	0.0 (0)



肯定的な回答はすべてのカテゴリーで8割を越え、それぞれ4.8ポイント、8.6ポイント、10.5ポイント上昇しました。文化祭の一般公開や球技大会など、コロナ禍以前のような形で学校行事が行えたことがポイント上昇に繋がったと考えられます。今後も、より充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきたいと思ひます。

1. 学校は、学習評価の仕方や進級・卒業の認定条件について、分かりやすく説明している。

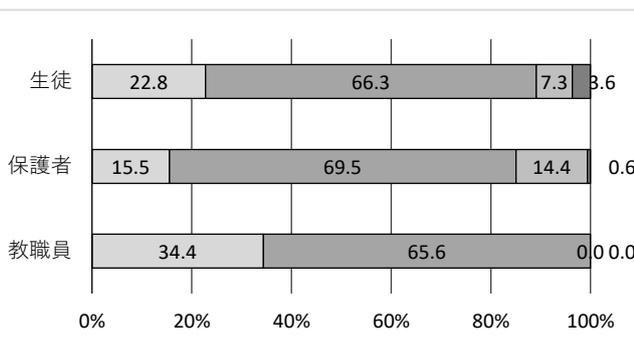
(%)	1	2	3	4
生徒	36.3 (28.9)	56.5 (62.6)	5.2 (6.9)	2.1 (1.6)
保護者	18.4 (15)	64.4 (62.9)	16.1 (19.3)	1.1 (2.9)
教職員	34.4 (37)	62.5 (60.9)	3.1 (2.2)	0.0 (0)



肯定的な回答は教職員が1ポイント下降したものの、生徒は1.3ポイント、保護者は4.9ポイント上昇しました。先行的に導入してきた観点別評価が浸透し、生徒、保護者の評価上昇にも繋がっているものと考えられます。今後も、学習評価について生徒・保護者に理解を深めてもらうとともに、適切な評価ができるよう努力していきたいと思ひます。

2. 学校は、生徒をよく理解して、適切な学習指導を行っている。

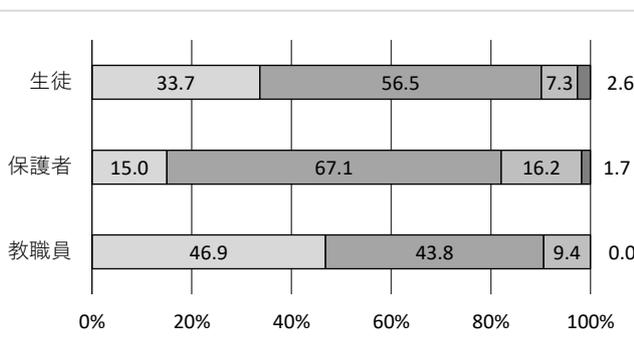
(%)	1	2	3	4
生徒	22.8 (28.3)	66.3 (60.7)	7.3 (9.7)	3.6 (1.3)
保護者	15.5 (17.3)	69.5 (60.6)	14.4 (17)	0.6 (5.1)
教職員	34.4 (19.6)	65.6 (63)	0.0 (15.2)	0.0 (2.2)



すべてのカテゴリーが概ね肯定的な回答で、保護者は7.7ポイント、教職員は17.4ポイント上昇するなど、学習指導において昨年度より意識の高い結果となりました。今年度より生徒全員がタブレット端末の利用が可能となり、学習指導やアンケートなどの効率化が図られるようになりました。今後とも学習活動がよりよいものとなるよう改善に取り組んでいきたいと思ひます。

3. 本校生は、場面に応じた挨拶をができています。

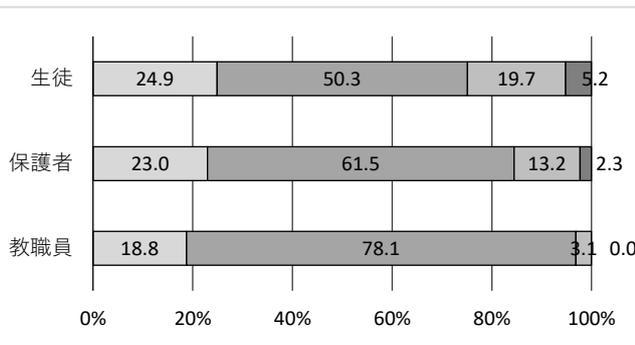
(%)	1	2	3	4
生徒	33.7 (28.3)	56.5 (60.7)	7.3 (9.7)	2.6 (1.3)
保護者	15.0 (17.3)	67.1 (60.6)	16.2 (17)	1.7 (5.1)
教職員	46.9 (19.6)	43.8 (63)	9.4 (15.2)	0.0 (2.2)



肯定的な回答が、生徒と教職員は9割を越えましたが保護者は8割程度に留まり、保護者との間に認識のズレが生じています。高校卒業後すぐに社会人となる生徒が多い本校において、保護者を含め外部の方々から生徒の挨拶について厳しい目で見ていることの表れだと考えられます。しかし、全体的に見れば肯定的な回答が増えているので、挨拶運動などにより一層力を入れ、分け隔て無く挨拶が自然にできるように指導していきたいと思ひます。

4. 本校生は、高校生としてふさわしい服装や頭髪等の身だしなみが身に付いている。

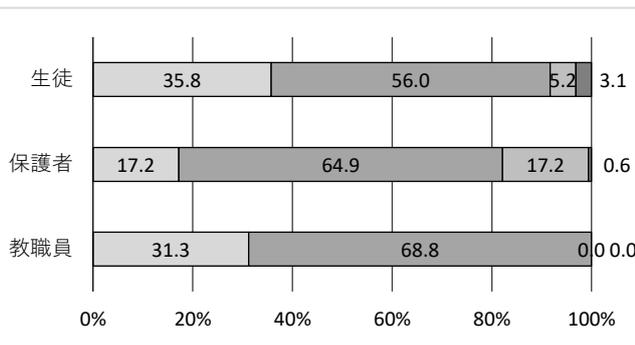
(%)	1	2	3	4
生徒	24.9 (19.2)	50.3 (57.9)	19.7 (17.9)	5.2 (5)
保護者	23.0 (23.2)	61.5 (57.9)	13.2 (13.2)	2.3 (5.7)
教職員	18.8 (17.4)	78.1 (63)	3.1 (15.2)	0.0 (4.3)



肯定的な回答は保護者が8割、教職員が9割を越え、昨年度よりも上昇しましたが、生徒は7割台に留まり微減しています。定期的に行っている“朝のマナーアップ指導”や、“見守り指導”による、学年での温度差のない指導への取り組みが浸透してきたことが保護者と教書員の肯定的回答が増加した要因だと思いますが、生徒は必ずしもそうではないものと思われます。今後も更に全職員で共通理解を行い、温度差のない指導を続けていきたいと思ひます。

5. 学校は、スマートフォン等の適切な使用について指導を行っている。

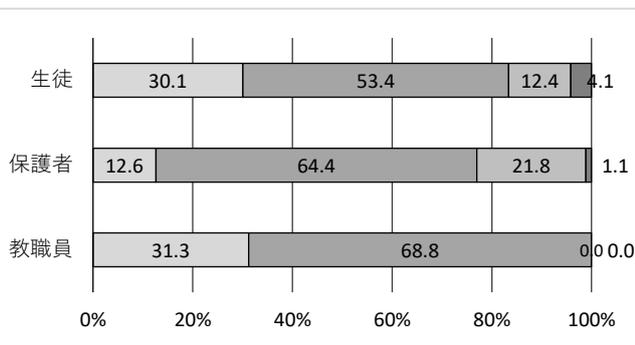
(%)	1	2	3	4
生徒	35.8 (34)	56.0 (58.8)	5.2 (4.7)	3.1 (2.5)
保護者	17.2 (16.1)	64.9 (66.4)	17.2 (15)	0.6 (2.5)
教職員	31.3 (19.6)	68.8 (65.2)	0.0 (8.7)	0.0 (6.5)



すべてのカテゴリーで概ね肯定的な回答となりました。学校生活の中でもタブレットやスマートフォンを活用した授業を行っており、アンケート調査等でも普段からスマートフォンを利用することが多くあることから、情報モラルや使用マナーの向上が生徒たちに身につけてきているものと思ひます。しかし、SNS等での不適切利用がゼロではないので、トラブル等が起きないように引き続き指導して参ります。

6. 学校は、自転車やバイク等の安全教育に取り組んでいる。

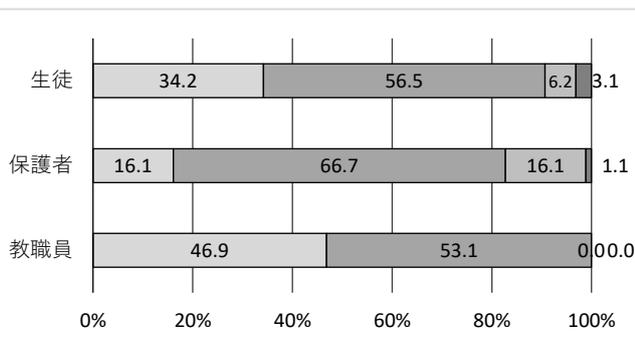
(%)	1	2	3	4
生徒	30.1 (25.2)	53.4 (57.9)	12.4 (12.6)	4.1 (4.4)
保護者	12.6 (12.9)	64.4 (66.1)	21.8 (16.1)	1.1 (5)
教職員	31.3 (13)	68.8 (78.3)	0.0 (8.7)	0.0 (0)



保護者の肯定的な回答が2ポイント減少しましたが、おそらく送迎途中での生徒の登校マナーの悪さを指摘しているものと思ひます。年々本校の自転車通学者は減少し、バイク通学者においては0名ですが、県内では高校生の通学中での事故が増加していることから、自転車通学者のヘルメットの着用を本校でも9月より義務化しました。今後も、登校マナーの向上、登下校全般の交通規則の遵守、交通事故への注意喚起の徹底を図っていきます。

7. 学校は、生徒に適した進路情報を提供し、生徒の可能性を引き出そうとしている。

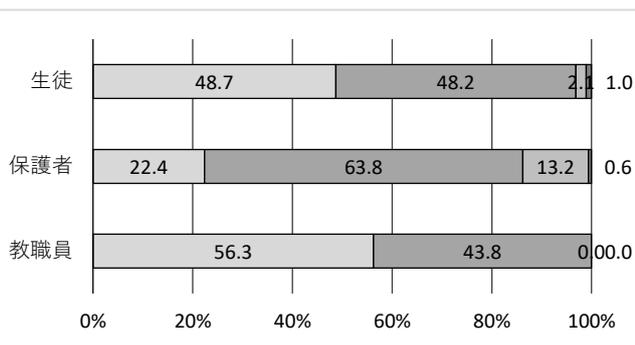
(%)	1	2	3	4
生徒	34.2 (28.6)	56.5 (57.5)	6.2 (11.6)	3.1 (2.2)
保護者	16.1 (17.6)	66.7 (59.5)	16.1 (19.4)	1.1 (3.6)
教職員	46.9 (32.6)	53.1 (65.2)	0.0 (2.2)	0.0 (0)



生徒・保護者において肯定的な回答が昨年度より増加しているものの、教職員の間には差が出ています。生徒の要望や適性にあった進路情報の提供と進路指導を行っていますが、より細やかな進路指導を必要としている生徒が増えているためと考えます。今後も、生徒および保護者が求める適切な進路情報の提供や進路指導を、学年団と連携して心がけていきたいと思ひます。

8. 学校は、外部講師による進路講話やインターンシップなどの進路行事を企画し、キャリア教育を積極的に推進している。

(%)	1	2	3	4
生徒	48.7 (45)	48.2 (50)	2.1 (2.8)	1.0 (2.2)
保護者	22.4 (21.5)	63.8 (60.2)	13.2 (15.1)	0.6 (3.2)
教職員	56.3 (54.3)	43.8 (45.7)	0.0 (0)	0.0 (0)



生徒・保護者ともに肯定的な回答が微増しました。コロナ禍で実施できなかった外部講師によるガイダンスやインターンシップも以前と同じように実施することができた結果だと考えます。3年生の外部講師による模擬面接も3年目となり、生徒も高い意識で取り組むことができ、また学校全体で進路行事を企画運営できているため高い就職内定率に繋がっていると考えております。今後も社会で活躍できる人材育成のため、更なる職業観や勤労観を育成していきたいと思ひます。